

平成25年度

優れた教育活動表彰

1 学校（7校）

学 校 名	学校長氏名	表 彰 の 理 由
安来市立社日小学校	安 部 寛 子	<p>平成23、24年度に体力向上推進モデル校として「ともに学び、高め合う社日っ子の育成」を研究主題に取り組んだ。4つのプランを軸に進められた実践活動は、教職員の授業力の向上、児童の意欲的な取組につながった。また、児童の実態の把握と指導計画の重要性についても明らかにした。</p> <p>「生きる力」の重要な要素である体力づくりへの理解を高めたことは大変意義深いものである。</p>
雲南市立寺領小学校	周 藤 正 己	<p>平成23、24年度に体力向上推進モデル校として「豊かなかかわりの中で、主体的に健康・体力づくりに取り組む寺領っ子の育成」を研究主題に取り組んだ。「体力授業づくり」と「環境づくり」の2つの柱を掲げ進められた活動では、家庭・地域との連携により運動の定着化を図ることができた。</p> <p>学校教育全体を通しての取組は多岐にわたり成果をあげている。</p>
吉賀町立六日市小学校	岡 本 昌 浩	<p>平成23、24年度に体力向上推進モデル校として「できる喜びや楽しさを味わい、主体的に体力づくりに取り組む児童の育成」を研究主題に取り組んだ。体育の授業や課外体育を充実させ、運動経験を豊かにすることによって運動好きの児童が増え、運動する意欲の向上へとつながった。</p> <p>体育の授業の充実は、児童の動ける体の獲得となり、実践をさらに発展させ成果をあげた。</p>
海士町立海士小学校	宇 野 和 福	<p>平成23、24年度に体力向上推進モデル校として「確かな学力と豊かな心を支える体力の育成」を研究主題に取り組んだ。「授業づくり」と「授業以外の取組」を中心に進められた実践では、運動の日常化や達成感を味わうことのできる工夫がなされ、児童の意欲の向上につながった。</p> <p>体力は学力や豊かな心を支える重要な要素ととらえ、全教職員共通理解のもと学校全体で進めたことで大きな成果が得られた。</p>

学 校 名	学校長氏名	表 彰 の 理 由
益田市立益田東中学校	坂 田 仁 志	<p>教師と生徒の信頼関係を基盤とし、生徒指導を核とする学校運営を行っている。特に、生徒会活動を積極的に推し進め、生徒の主体性を育み、生徒集会等を通じて、学年や学級をこえた人間関係づくりに取り組んでいる。</p> <p>生徒会の中央委員会では、学校の諸課題を話し合い、改善につなげる活動を行っている。また、生徒のリーダー性育成と自治的な集団づくりなどにより、学校行事の企画運営に主体的に関わり、大きな達成感、充実感を味わえるものを作り上げた。</p>
江津市立江津中学校	瀧 岡 繁 人	<p>平成23、24年度に体力向上推進モデル校として「人との関わりの中で、自主的に健康、体力の向上に取り組む生徒の育成」を研究主題に取り組んだ。「体育の授業の充実」と「家庭、地域との連携」の2つの柱を掲げ実践を進めた。スポーツ広場を開設したり、生徒、保護者、地域の人を対象に食育や体力づくりの講演会の開催も行った。これらの取組が体育授業だけでなく、教職員の連携のもと、学校教育活動全体に広がったことは大きな成果である。</p>
島根県立松江商業高等学校	山 本 篤 治	<p>本校は、商業教育を核とした教育活動を通し、地域産業界を担い地域で活躍できる人材育成に取り組んでいる。平成24年度は「松商だんだんフェスタ」を開催し、生徒一人ひとりが自ら主体的に携わり学習の実践、体験学習の場、地域との交流の場として企画・運営を行った。地域に開かれた教育活動の展開とキャリア教育の推進に貢献している。</p>

(注) 上記の掲載順は、小・中・高等学校、かつ建制順による。

2 個人（6名）

氏名	所属・職	表彰の理由
井上賞子 <small>いの うえ しょう こ</small>	安来市立赤江小学校 教諭	<p>通級指導教室の担当者として特別支援教育に関わり、障がいのある子ども達の学びを支える教具の開発に取り組んだ。研究成果を学級経営やコーディネーターとして校内体制を支える中で発揮している。</p> <p>研究成果については、実践に生かすだけでなく、保護者、教員を対象にした学習会を行い、支援を必要としている子ども達に情報を届けるための活動も行っている。</p>
河野明子 <small>こう の あき こ</small>	江津市立青陵中学校 養護教諭	<p>養護教諭として学校保健の向上のため取り組んできた。学校保健の課題に常に真摯に向き合い、実践発表や論文応募など、その成果を県内外で発表し、後進の育成指導や健康教育の推進にも貢献している。地域や県内のリーダー的立場にあり、豊富な経験と卓越した指導力で養護教諭の資質向上に熱心に取り組んでいる。</p>
菅田弥生 <small>すが た や よい</small>	安来市立荒島小学校 栄養教諭	<p>学校栄養職員・栄養教諭として児童生徒の心身共に健全な育成を目指し、さまざまな方面から食育に取り組んできた。勤務した職場での特色を生かしながら、給食管理や食に関する指導を行ってきた。地域の生産者や食に携わる方を授業に招くなど、校内外で食育の推進に努め、その活動は新聞等でも取り上げられている。栄養教諭の専門性を生かした取組は学校給食の充実や食育の推進に寄与している。</p>
田中眞由美 <small>た なか まゆみ</small>	大田市立川合小学校 栄養教諭	<p>児童生徒の心身共に健全な育成を目指し、学校給食を通して健康に配慮したバランスの良い食事のとり方の指導に取り組んできた。生産者との農業体験や、親子料理教室等を行い、児童生徒に感謝の心を育むことに努め、地域の食育の推進にも尽力した。</p> <p>平成21年度からは栄養教諭として授業に取り組むとともに、後進の模範となり学校給食の充実や食育の推進に寄与している。</p>
内藤美智子 <small>ない とう みちこ</small>	松江市立津田小学校 事務リーダー	<p>平成22年度から2年間、島根県公立小中学校事務職員研究会の事務局長として、県の学校事務の改善や職員の資質能力向上に尽力した。地域の研究会組織のあり方についてさまざまな取組を進め、事務職員の意識の向上と研究会の発展に寄与した。長年にわたる活動は、今後の学校運営に必要な学校事務の確立に大きく貢献している。</p>

氏 名	所属・職	表 彰 の 理 由
<small>やま うち ゆみこ</small> 山 内 由美子	松江市立第四中学校 主幹	<p>平成17年度から7年間島根県公立小中学校事務職員研究会の研究部に所属し、県の学校事務の改善や職員の資質能力向上に尽力した。研究部長としての3年間は第三次研究中期計画のまとめ、第四次研究中期計画策定など先導的役割を果たした。長年にわたる活動は、今後の学校運営に必要な学校事務の確立に大きく貢献している。</p>

(注) 上記の掲載順は、五十音順による。